

ユングの心理学

久松 聰 (高槻市)



知恵の宝庫である図書館が我が家の近くにあるのでよく利用している。趣味の俳句は勿論、経理

会員投稿

ユングの心理学の一貫したテーマは、無意識の中にあるもう一人の自分の存在を認め、それを意識の中に統合していきこうというものである。

人はこの世に生を受けて、それぞれの家庭環境や社会の中で学び成長し、そして死んでいく。伝統を受け継ぎ成人すると、意識の世界では世の中の事象について固定概念に囚われがちである。

ユングの心理学は男には女性性、女には男性性がある。無意識の中にもう一人の自分として存在すると言っている。私たち歯科医の仕事は、患者に從属して世話をするという女性性と、リーダーシップを持って治療を完成させるという男性性の両面が要求されていると思っ

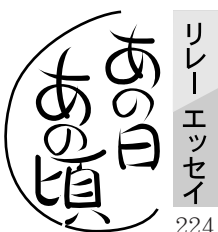
そしてユング心理学関連の書で特に興味を惹かれた著書は、「大人のため

の心理童話——心の危機に処方する16の物語(ユング派精神分析医・アラシ・B・チレン著、羽田詩津子訳)であった。その前書きを引用しよう。

「めでたしめでたしで終わったその後、王子様が禿げ、お姫様が中年女になるというなるか？果てしない日々の務めで疲れきり、とまどい、人生の途上で立ちすくんでいるとき、昔話という思いがけない場所に、魔法と英知が用意されている。心の危機に大いに役立つ16の物語を、ここに処方しよう」私は、これらの昔話と著者の心理学的洞察を読み進むうちに、大いに啓発されたのである。

終わりに、図書館の書架を見て廻って思いがけず、懸案の問題解決のヒントを得る著書に出会うことが出来た。

残暑お見舞い申し上げます



先日、全日本歯科医師会大会が神戸であり、高槻の知り合いの先生と出

テニスへの熱い気持ち

久保田 直宏 (高槻市)



再会することができ、色々昔の話をして楽しい一時を過ごすことが出来た。

私は大学時代硬式テニス部に所属し、ほぼ毎日テニスをしていたような感じがする。少し怒られるかもしれないが、大学へはテニスをしに行ってい

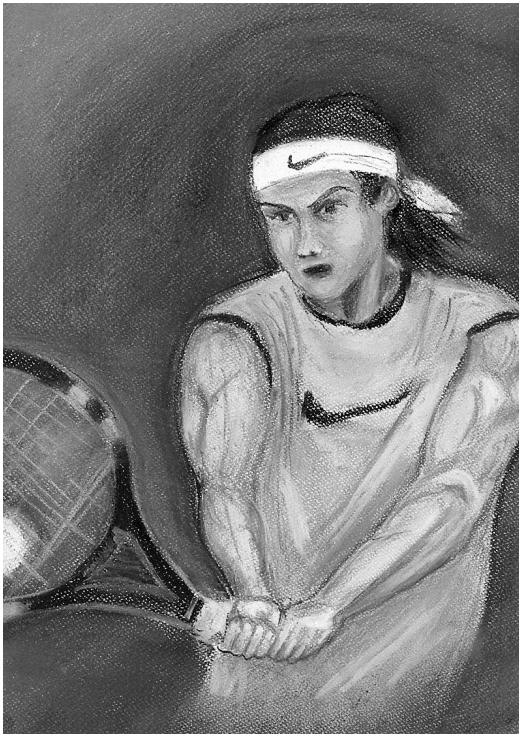
たようなものであった。そして我々が目指していたのが歯学体での優勝であり、そのためには少しくらい厳しい練習は当たり前であった。ただ試合はそれだけでは勝てな

かった対戦相手の方々も10年ぶりに会っても笑顔で話をしてくれた。なんと心の広い人達かと感心した。ただその時代の後遺症が今も少し残ってお

り、少し声を出さないと体が動いてこない。例えば「うりゃー取ってみろ」「うりゃーこいよ」

などなど。やはり社会人としてこのような言葉を発しながらテニスをするのは恥かしいので今はほ

んど言わなくなったが、先日のテニス大会で少し気持ちがヒートアップしたため、少し発して



絵 藤田 進氏 (河内長野市)

しまった。さいわい相手の選手に聞こえることもなかったせいも、試合は和やかに進み、終了した。結果は2回戦敗退という残念な結果であったが、少し昔の熱い気持ちを思い出し、もう少し練習して普通にテニスとして勝ちたいと思つ今日この頃である。

久保田直宏先生ありがとうございます。次回9月15日付は久保田先生の推薦で青木修一先生(高槻市)にバトンタッチされます。どうぞ期待ください。



女人禁制

林 俊宏 (中央区)

7月にはめざらしく強い台風のため中止になったが、毎年この時期は大峰山の登拝が行われる。大峰山とは、近畿の屋根といわれる大峰山脈の一座である山上ヶ岳のことである。

この山脈は北は吉野山から南は熊野まで続いており、1200以上の山だけで50座存在する。今から1300年以上前から、超人とも言える役(えん)の行者が開いた女人禁制の伝統を守る世界唯一の修行の場である。開祖の行者は決して女性を差別したのではなく、その存在故の心の弱

さには打ち克つ為に女性を絶ったと言われている。禁制といっても山脈全体ではなく行場の多い山上ヶ岳の周辺だけであり、西隣りの稲村ヶ岳などはもっと峻険で、昔は禁制だったが今は女性も登っている。私は二十数年前に初めて登拝したが一昼夜女性を見ずに翌日下りてきた時、最初に目についたバスマイダの女の子の姿がなんとも神々しく感じられ、それまでの女性を見る目がいい意味でリセットされたような気になった。

ところで男女平等が叫ばれて久しいが、その割に区別なのか差別なのか訳の分からないことがある。例えば、女性専用車両である。痴漢に遭いたくない女性のためというのであれ

ば、痴漢に間違われたくない男性のための車両があってもいいのではないか。しかしその場合は、男女差別だとのたまう輩がいるかも知れない。

大峰山の女性への解放はかなりの前から議論されてきたが、もし女性が入る場合、現実的な問題として山上の宿坊があげられる。これらの建造物は古くて質素だが、風格があり周囲の自然と美によく調和している。

風呂は貴重な天然水を使い桶は狭く水を洗うが如く、後から入れたものではない。トイレははるか数メートル下の暗闇に流す純和式である。今時しゃがんで用を足せない、水洗でないといふ極めつけは、洗浄器なしでは出せない人もいると聞く。その為この古き良き施設の大幅な改造が必要となり、今まで調和していた周囲の自然に何らかの影響を与えることになるだろう。

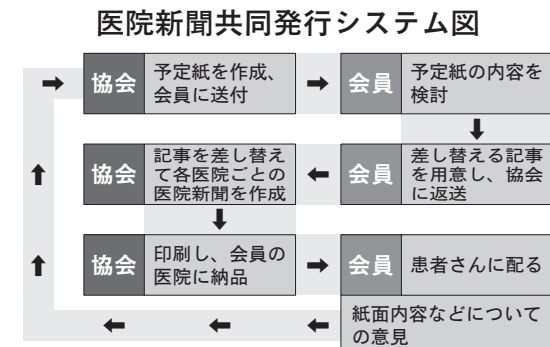
路傍の石や一木一草にまで仏が宿っていると云われるこの大自然を、昔から培われてきた文化としての習慣と共に後世に伝えていきたいと思っ

ら。これらの建造物は古くて質素だが、風格があり周囲の自然と美によく調和している。

風呂は貴重な天然水を使い桶は狭く水を洗うが如く、後から入れたものではない。トイレははるか数メートル下の暗闇に流す純和式である。今時しゃがんで用を足せない、水洗でないといふ極めつけは、洗浄器なしでは出せない人もいると聞く。その為この古き良き施設の大幅な改造が必要となり、今まで調和していた周囲の自然に何らかの影響を与えることになるだろう。

路傍の石や一木一草にまで仏が宿っていると云われるこの大自然を、昔から培われてきた文化としての習慣と共に後世に伝えていきたいと思っ

医院と患者さんの定期便 医院新聞 共同発行会



手間要らずで安価に
ベースは協会が責任編集
記事の一部は差し替え可能
各医院のオリジナル紙面

隔月(奇数月)発行 B5判 4ページ建て
100部 14,100円から
お問い合わせは 協会事務局 ☎06-6568-7731へ

ふれあい歯科新聞

2007/7/8
〒12-345-8789
東京都中央区
〇〇ビル 2-3-44
発行人 藤田 進

ふれあい歯科新聞とは
患者さんには、ア
ンケートやアンケート
をとり、患者さんの
要望や悩みを聞き
取り、医院の改善
に努めます。また、
患者さんの健康を
守るために、予防
歯科の重要性を
お知らせします。

ふれあい歯科新聞
は、患者さんの健康
を第一とし、医院
の改善に努めます。
また、患者さんの
健康を守るために、
予防歯科の重要性
をお知らせします。

ふれあい歯科新聞
は、患者さんの健康
を第一とし、医院
の改善に努めます。
また、患者さんの
健康を守るために、
予防歯科の重要性
をお知らせします。